

令和2年度当初予算(案)に対する パブリックコメントの結果と市の考え方について

令和2年2月

江別市総務部財務室財政課

－募集結果－

【参考】意見の反映状況

意見提出者	3名
対象事業数	3事業
意見数	5件

A		新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
B	1	一部について、新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
C	4	今後の検討課題とするもの
D		実現が難しいもの等

令和2年度当初予算(案)パブリックコメントの結果について

1. パブリックコメント募集期間 : 令和元年12月2日(月)～令和2年1月6日(月)
2. 配布部数(公共施設から持ち去られた数) : 35部 (R1 56部、H30 48部、H29 51部、H28 57部、H27 65部、H26 36部、H25 63部、H24 59部、H23 37部、H22 75部)
3. 意見提出人数 : 3名 (R1 9名、H30 4名、H29 2名、H28 1名、H27 5名、H26 2名、H25 5名、H24 4名、H23 1名、H22 7名)
4. 意見があった事業数および件数 : 3事業 5件 (R1 2事業10件、H30 6事業 12件、H29 4事業 5件、H28 0事業 1件、H27 5事業 6件、H26 8事業 10件、H25 16事業 19件)

(単位:万円)

政策	取組の基本方針	番号	事業名	所管課	意見数	R1予算	R2要求	R2予算 (案)	左の財源			
									国・道	市債	その他	一般財源
1 自然・環境	1 人と自然の共生	5373	野生鳥獣等保護管理事業	環境課		23.8	147.0	147.0			0.3	146.7
3 福祉・保健・医療	4 高齢者福祉の充実	6862	介護人材養成支援事業	介護保険課			1,088.4	1,088.4	544.2			544.2
4 安全・安心	1 安全な暮らしの確保	175	交通標識設置事業	市民生活課	2	26.8	55.7	55.7			25.0	30.7
	2 地域防災力の向上	6402	災害対応物品整備事業	危機対策・防災担当		464.6	784.7	784.7	370.0		365.0	49.7
5 都市基盤	1 市街地整備の推進	714	都市景観創出事業	都市計画課	1	60.4						
6 子育て・教育	1 子育て環境の充実	6519	待機児童解消対策事業	子ども育成課		285.9	1,849.2	1,814.9	860.4		450.0	504.5
	2 子どもの教育の充実	6858	小中学校ICT環境整備事業	学校教育課			4,076.2	3,806.8				3,806.8
7 生涯学習・文化	1 生涯学習の充実	4449	えべつ市民カレッジ(四大学等連携生涯学習講座)事業	生涯学習課	2	19.6	18.3	18.3				18.3

令和2年度当初予算(案)パブリックコメント意見一覧表

政策	事業名	所管課	ご意見	要求額	予算(案)	市の考え	結果
1-1	野生鳥獣等保護管理事業	環境課		147.0万円	147.0万円		
3-4	介護人材養成支援事業	介護保険課		1,088.4万円	1,088.4万円		
4-1	交通標識設置事業	市民生活課	<p>江別市の開発計画により、私が住むJR野幌南口付近の光景がここ数年で大きく変わりました。道路は交通量が多くなり、街は開けましたが、一方で危険な箇所も多く見かけるようになりました。その中でも気になるのが、信号機の少なさです。信号機が少ないということは、ドライバーさんや歩行者の方々の個人の裁量によって判断し、発信・横断するということとなります。先日、江別警察署に信号機設置の要望の電話を入れたところ、行政としての予算がなかなかまわらないとのこと。交通安全対策として江別市としてできることを遂行するための予算を組んでいただきたいです。</p>	55.7万円	55.7万円	<p>市内の危険箇所への信号機、横断歩道等の交通標識の設置については、江別警察署を通じて北海道公安委員会へ毎年要望を行っておりますが、実現に至った箇所は極めて少ない現状となっております。市といたしましては、危険箇所について、北海道公安委員会への要望を継続するとともに、注意喚起看板等を設置し、交通事故の減少に向けた取り組みなどを進めてまいります。</p>	B
			<p>注意喚起看板等の新規設置について強く反対する。近所に「スクールゾーン」の看板が設置されているが、老朽化し、不気味にさえ思えるほど劣化している。確かスーパーの近くにも景観を著しく損ねるようなスクールゾーン看板が存在し、このことから推測すると、数多くの劣化したスクールゾーン看板が市内に点在すると思われる。看板の現状についてひとつひとつ市役所は把握できているのだろうか。維持管理ができていないのに、次から次と新しい看板を設置するのは無責任である。もし自分の家の近くに住んでも不気味な看板があったらどう思うのか。そのような市民感情を考えたことがあるか。上記について、劣化した看板を放置してでも新たな看板を設置するべきと財政部門は考えているのか教えてもらいたい。</p>			<p>市のスクールゾーン看板につきましては、スクールゾーンが設定された昭和47年から設置が進められており、劣化が激しく危険なものについては、適宜修繕・撤去を進めております。注意喚起看板等については、自治会等からの設置要望も多いことから、今後とも看板の劣化状態など現状の把握に努めるとともに、学校や地域の方と相談しながら対応してまいります。また、今回設置しようとする注意喚起看板については、交通安全対策のためにいただいた寄附を活用し、地元からの要望の高い危険箇所への設置を進めようとするものであり、既存の設置看板等の管理とともに交通安全対策を計画的に進めてまいります。</p>	C
4-2	災害対応物品整備事業	危機対策・防災担当		784.7万円	784.7万円		
5-1	都市景観創出事業	都市計画課	<p>事業の目的と事業内容が合致しなく無駄使いだっただけ。創出でなくあるものを見つけて、フォトコンテストするという、目的と内容が初めから合致していなかった。まちづくりで気になるのは、8丁目通りのある商店が表通りに背を向けていること、鉄道林の公園化で、自生している樹木を全て除去していたこと、レンガのまち野幌といっているながら野幌駅の景観はマッチしているのか等々。計画段階で「景観創出」に市がもっと関与してほしい。特に市が事業主体のものは当たり前のことであると思う。</p>	0.0万円	0.0万円	<p>本事業は、都市景観に対する意識の高揚と、江別らしい景観づくりへの理解と関心を高めることを目的として、景観に関するイベント、啓発活動を行うものです。事業の内「まちづくり彩々展」については、期間中の来場者数などを踏まえ令和2年度の開催を休止するものです。今後も、美しい都市景観が形成されるよう、市ホームページの情報発信の充実などにより、引き続き景観啓発に努めてまいりたいと考えております。なお、公共施設の建設に当たっては、市民に親しまれる地域の拠点として、江別らしさ・シンボル性・親しみのある景観を目指すよう心掛けてまいります。</p>	C
6-1	待機児童解消対策事業	子ども育成課		1,849.2万円	1,814.9万円		
6-2	小中学校ICT教育環境整備事業	学校教育課		4,076.2万円	3,806.8万円		
7-1	えべつ市民カレッジ(四大学等連携生涯学習講座)事業	生涯学習課	<p>目的は「まちづくりに参画していくため」となっている。登録者数等は年々増えている事は良い事です。しかし、目的である問題意識と知識を獲得した方々をまちづくりにどうフィールドバックさせているのかが殆んど分からない。学位取得した個人の財産を市の財産としてどういうところにどう活かしてゆくのかが問われていると思います。担当課の事業として終わらせるのではなく、市全体の活性化に連携させることが大切だと思います。事業目的になかった効果が出ているかを確認して下さい。少ないお金でも大切に使うして下さい。</p>	18.3万円	18.3万円	<p>えべつ市民カレッジは、多様化する学習ニーズや地域課題に応じた学習機会を提供するとともに、習得した知識や技能を地域づくりに活かしていくことを目的としています。現状では、まず市民の様々な学習意欲に応えるよう講座数の拡大に努めているところであります。受講生の中には、自治会など地域で活動している方もいるものの、学んだ知識の地域づくりへの活かし方については、検討の余地があるものと考えております。今後も他市の事例や連携して事業を実施している大学、社会教育関係団体の意見も参考にしながら、学習の成果を地域づくりに活かす方策について、引き続き検討してまいりたいと考えております。</p>	C
			<p>学長奨励賞の新設に強く反対する。『学長奨励賞』を新設とあるが、これは北海道が行っている道民カレッジにおいて贈呈されているものをマルパクリしたものではないのか。ネーミングさえも「学長奨励賞」という全く同じ文言を用いているが、そんな芸のないことをされても面白くない。市役所が意気揚々と「新設しました！」と言っても市民ははらけるだけである。誰かの真似をするだけの仕事をされては血税を納めている市民として納得できない。市職員として税金を扱うのであれば、安易に猿真似をするのではなく、創意工夫のある事業展開を求める。その工夫こそ税金が使われるべきであると思うが、北海道のアイデアを真似るだけの内容に対して税金を使うことにつき財政部門としてどう考えるか回答願いたい。</p>			<p>賞の新設については、他自治体の事例や受講生の意見を参考にしながら、検討を重ねてきたものであり、受講者のさらなる参加意欲向上のため、既定予算の範囲内で実施可能なものとして立案しました。今後も経費の節減に努めながら、大学や社会教育関係団体と連携・協力し、市民の生涯学習活動の推進に努めてまいります。</p>	C